

拠点名称：森の価値変換を通じた、自律した豊かさの実現拠点

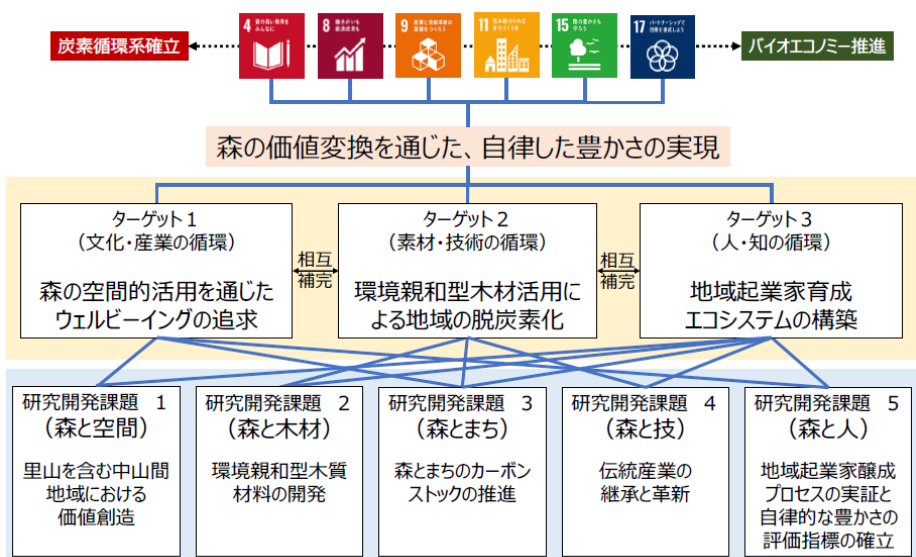
代表機関	秋田県立大学	プロジェクトリーダー	高田 克彦 秋田県立大学 木材高度加工研究所 教授
幹事自治体	秋田県	幹事機関	国際教養大学、秋田公立美術大学 株式会社Q0、一般社団法人サステナブル経営推進機構、株式会社秋田銀行
参画機関	京都大学、神戸大学、静岡大学、長野大学、森林研究・整備機構森林総合研究所、フィンランド自然資源研究所 能代市、大館市、株式会社竹中工務店、トヨタ車体株式会社、株式会社日建設計、株式会社イトーキ、株式会社 長谷萬、三井ホーム株式会社、株式会社大林組、森林資源バイオエコノミー推進機構株式会社、詩の国秋田株式 会社		

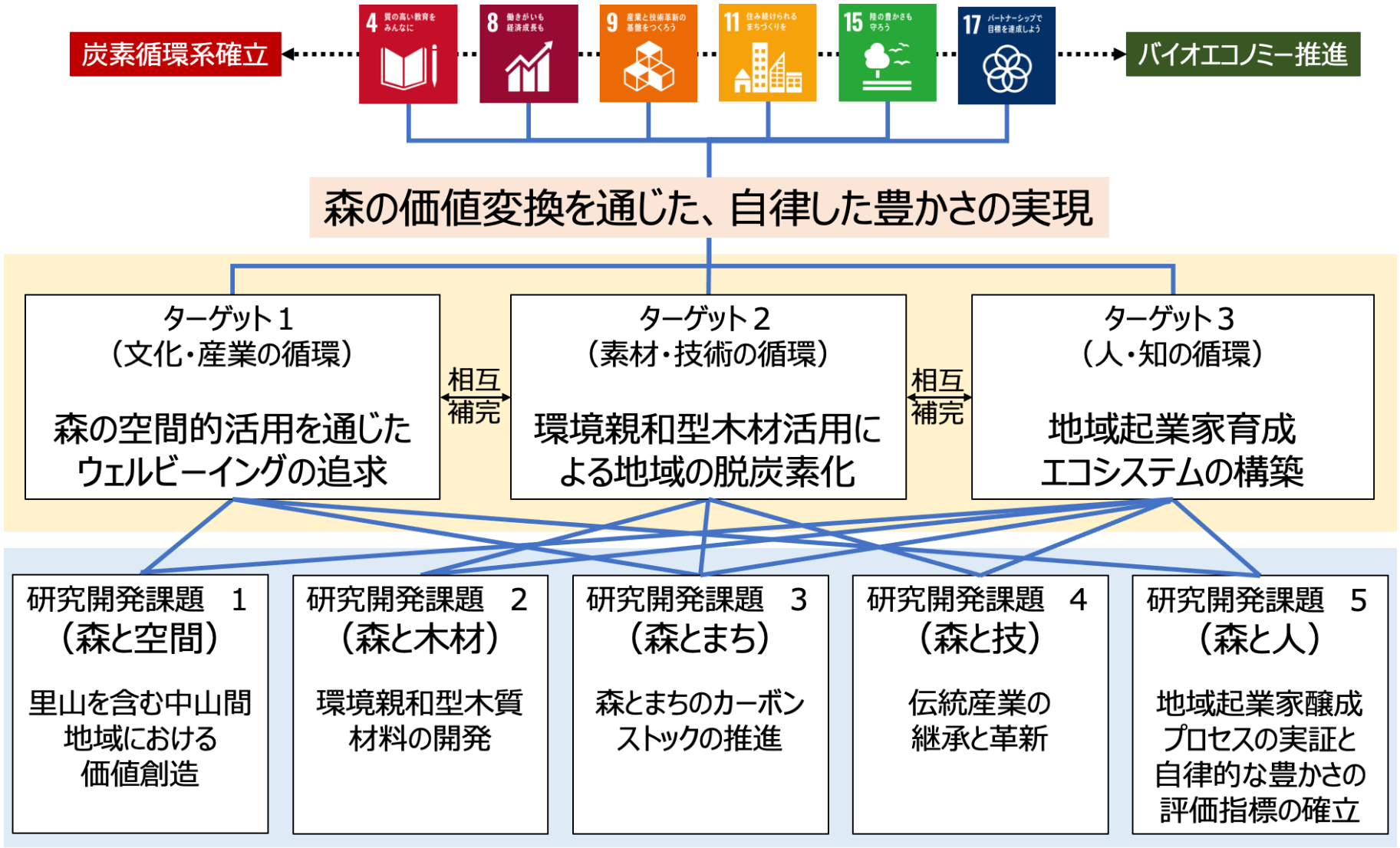
プロジェクトの概要

日本社会は、世界に先駆けて人口減少と高齢化を経験しており、これに対応する新しい社会デザインが求められている。なかでも地方では1950年代から若者人口の流出が続いており、地域経済の縮退や担い手不足が深刻な問題となっているが、こうした「地域の縮退」を解消し、持続可能な地域社会を実現する仕組みは未だ提案されていない。我々は、こうした状況の原因を社会構造上における「循環の滞り」にあると捉えており、その結果、産業、技術、人の3つの要素の空洞化を引き起こしていると考える。

本提案はこのような問題意識に立ち、秋田県に豊富にある森林資源に着目し、森の価値変換を通じて循環の滞りを超越し、当該地域において自律的な豊かさが体现される社会の実現に挑む。このために、「文化・産業」、「素材・技術」、「人・知」の3領域において、森の恵みをフル活用するための研究開発と人材育成を展開する地域拠点を構築する。この拠点は、代表機関である秋田県立大学の「技術力」に国際教養大学の「教養力」と秋田公立美術大学の「デザイン力」を組み合わせ、さらには連携機関の「研究力」、自治体の「行政力」、民間企業の「社会実装力」を結集し、森の生態系サービスなどの既存価値を現代的価値に変換するとともに、今までにない新たな価値を創造することで、自律した豊かさが実現される拠点の形成を目指す。

本拠点の全体像





拠点名称：森の価値変換を通じた、自律した豊かさの実現拠点

代表機関：秋田県立大学

プロジェクトリーダー：高田克彦(木材高度加工研究所教授)

最終目標研究開発課題1「（森と空間）里山を含む中山間地域における価値創造」の目標		年度
中間目標 1	①森林情報の整備	2027
中間目標 2	③文化的サービス事業の実施	2028
中間目標 3	②モデルの開発	2029
中間目標 4	①モデルの完成	2031
PoC達成目標	5年目①ゾーニングの実施、7年目②計画の策定、③心身健康面および経済効果の定量的検証	2028, 2030
最終目標	①森林エリアの機能評価の再定義、②中山間地域の土地利用・バイオマス利用計画の実施と一部実現 ③健康増進・環境教育「森」の文化的サービスの普及	2033
研究開発課題2「（森と木材）環境親和型木質材料の開発」の目標		年度
中間目標 1	②原料の検証	2025
中間目標 2	①成形性の達成、②性能検証	2026
中間目標 3	①基準への適合	2028
最終目標	①②環境調和型木質材料または原料の実用化	2033
研究開発課題3「（森とまち）森とまちのカーボンストックの推進」の目標		年度
中間目標 1	②3大学サテライトスペースの活用プログラム提案	2026
中間目標 2	①森林情報の整備、②市街地の木質化改修提案、③部材の検証	2027
中間目標 3	①要因の抽出、③低コスト化	2028
中間目標 4	③マニュアルの整備、③部材および建築技術の提案	2029
中間目標 5	①施業と林型の妥当性検証	2030
最終目標	①「森」のカーボンストック最大化のための管理計画と施業体系の構築、②サテライトスペースの検証、③木質建築部材・工法の環境性能評価	2033
研究開発課題4「（森と技）伝統産業の継承と革新」の目標		年度
中間目標 1	広葉樹素材生産者と木材産業者の需給情報共有の場の形成、木工技術の研究と実験的な木工プロダクトの開発・検証	2026
中間目標 2	国際見本市への出展と拠点確保	2028
PoC達成目標	7年目 木材産業における統合型プラットフォームの実証	2030
最終目標	教育研究機関と技術開発機関が産業と結びついた木材産業における統合型プラットフォームの完成	2033
研究開発課題5「（森と人）起業家精神醸成プロセスの実証と自律的な豊かさの評価指標の確立」の目標		年度
中間目標 1	地域起業家ネットワークの形成	2026
中間目標 2	地域起業家の育成プロセスの実証的な解明	2027, 2028
中間目標 3	自律的な豊かさに関する評価指標の確立	2029
最終目標	森の価値変換の手法を活用する地域起業家の育成エコシステム構築	2033

拠点名称：森の価値変換を通じた、自律した豊かさの実現拠点

代表機関：秋田県立大学

プロジェクトリーダー：高田克彦(木材高度加工研究所教授)

